

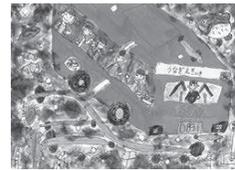
あやバス絵画展

市は「第12回あやバス絵画展」を開催しました。応募は計135点(園児11点、1年生58点、2年生50点、3年生16点)。入賞者は次の皆さんです(敬称略)。入賞作品は「移動絵画展」として、11月末まであやバスの車内で展示します。

—最優秀作品—



赤井 美岬 (物部保育園)



伊藤 旭 (綾部小1年)



野間 心結 (豊里小2年)



古屋 莉愛 (中筋小3年)

園児の部・5歳児
優秀賞/大槻竣(物部保育園) 佳作/亀井力駆(同) 桃太郎賞/中津隈權(同)

小学生の部・1年生
優秀賞/山本里菜(豊里小) 佳作/仲江花純(同) 桃太郎賞/山崎桜佳(同)

小学生の部・2年生
優秀賞/塩見梓月(豊里小) 佳作/村上琉希(西八田小) 桃太郎賞/出野紗那(中筋小)

小学生の部・3年生
優秀賞/四方彩椰(綾部小) 佳作/前岡明空(中筋小) 桃太郎賞/神内健吾(吉美小)

マイナンバーカードでさらに便利に 市役所に証明書自動交付機を設置



市は12月1日から、市民の利便性の向上や窓口の混雑緩和を目的に、市役所に証明書自動交付機を設置します。マイナンバーカード(以下、カード)を利用して各種証明書が取得できます。ぜひご利用ください。

申請書の記入が不要でスムーズに
この交付機で取得できる証明書は▽住民票の写し▽住民票記載事項証明書▽印鑑登録証明書▽課税(所得)証明書▽戸籍全部(個人)事項証明書▽戸籍の附票です。ただし綾部市が発行する証明書に限りません。

申請書の記入が不要で手数料の支払いや証明書の受け取りがスムーズになります。2月からサービスが始まっているコンビニ交付(本紙1月号参照)と同じ機器を使用するため、一度市役所で説明



コピーや写真印刷の機能はありますが、コピーや写真印刷の機能はありませんのでご注意ください

証明書自動交付機

利用時間 午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日、年末年始除く)
※戸籍証明書は午前9時～午後5時

利用できる人 本市に住居登録がある人(住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、課税(所得)証明書)
本市に本籍地がある人(戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票)

必要なもの マイナンバーカード(数字4桁の暗証番号)

ご利用ください!出張申請受付

市は、市内の企業や団体などへ市職員が出勤してカードの申請を受け付けています。詳しくは市民・国保課 ☎(42)2900まで

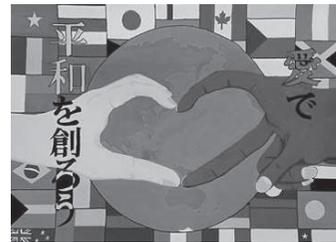
世界連邦推進綾部市小・中学生 ポスター・作文コンクール

地球市民の集い実行委員会(委員長、山崎善也・綾部市長)が、平和と環境をテーマに行っているコンクールの受賞作品が決まりました。本年度の応募はポスター344点、作文56点。入賞者は次の皆さんです(敬称略、順不同)。

ポスターの部
優秀/工藤灯世(八田中2年)▽白井美瑠(豊里小5年)
佳作/久保美幸(綾部中2年)▽波野莉音(同)▽森明咲(東綾中2年)
▽前原美桜(吉美小6年)▽松宮柊(志賀小6年)▽柳田菜里(綾部小6年)▽吉田真子(同)

作文の部
優秀/稲葉玄造(上林中3年)▽大西悠月(西八田小6年)
佳作/久田香菜子(同)▽井上歩乃花(上林中3年)▽渡邊悠人(同)▽村上結愛(豊里中1年)

—最優秀作品—



最優秀/能勢望(八田中2年)

世界がひとつになるために

戦争が起こるのは、相手のことを考えず自分勝手な言い分ばかりを主張することが原因だと思うので、相手の立場になって考える気持ちが大切だと思う。僕は世界がひとつになるためにできる限り努力して、今できることに全力で取り組んでいきたい。(要約)

最優秀/林 奏和(豊里中1年)



にぎやかな過疎

人口減少に歯止めがきかない地方においては、出生率の上昇や移住促進などの「緩和策」に加え、人口減少に耐えられる地域をつくり上げる「適応策」が重要とされている。後者を学術的には「持続的低密度社会」と論じ、過度な集中を是正し都市と別の価値を持つ居住空間をしっかりと存在させていることが国の底力ではないかとされている。その具体的なイメージを実践しているまちとして本市が、地方自治情報誌「月間カナン」の10月号で小田切徳美明治大学教授の寄稿文の一節「にぎやかな過疎」の具体例として紹介されている。

要約すると、「平農半X」というライフスタイルに共感した移住者も多く、農家民宿や通訳案内士、ウェブデザイナーなど農業と両立させるライフ

スタイルが選択されている。農家民宿は移住を考えている人の情報収集や地域住民との交流の場になり、まさに「にぎやか」である。しかしこの状況は移住者や関係人口だけが作り出したものではない。中心となるのは地元住民であり、地域づくりを特徴づける内発的、総合的、革新的な取り組みが行われていること。

先般、都市農村交流や二地域居住など「関係人口」の提唱者である田中輝美さんの講演を聴く機会があったが、切れ味鋭い表現を用いた示唆に富む内容であった。「地方の魅力は課題があること」なぜなら「都市部の若者は役割や繋がりを渴望している」「故郷は志を果たして戻るのはなく志を果たしに帰るところ」「人口を奪い合うのではなくシェアする時代」などが多ければ、それは楽しい所と結んだ。

この秋、綾部ではコロナ禍で中止を余儀なくされていた様々なイベントや行事が復活しつつある。その多くは地元の人はもちろんUTAIなどのミックスや連携での開催。文字通り「にぎやかな過疎」で盛り上がりつつある!

山崎善也(綾部市長)

拡大版! あやべ topics

綾部の魅力について語る

市は10月15日、青野町のものづくり交流館で「あやべ市民大学」(全5回)の第1回講座を開催。第1部では、山崎善也・綾部市長が「住み続けられるまちづくりへ」と題して、綾部の魅力や課題などについて講演しました。第2部では「新しい『田舎生活』のすすめ」を出版した蒲田正樹さんと山崎市長が対談。蒲田さんは「新書では、綾部にU・Iターンした人の素敵な生き方にスポットを当てています」と紹介。山崎市長は「蒲田さんの新書で、U・Iターンを考えている人の後押しになることを期待したい」と締めくくりました。



秋のバラまつり開催

10月15日、青野町のあやべグンゼスクエアで「秋のバラまつり」が開幕。市民ボランティア・綾部バラ会の皆さんが丹精込めて手入れした、150種1,200本の色彩豊かなバラが園内を彩りました。期間中は「綾のまちめぐりフェス」や「地球市民の集い」、「第29回綾部市菊花展」など多彩なイベントが催され、市内外から訪れた人たちは綾部の魅力を楽しみました。

思い出に残る特別な体験

10月22日、栗町の豊里コミュニティセンターで「第44回あやべジャンボリー」(市青少年育成連絡協議会主催)が開催されました。参加した市内小学校5・6年生22人は、ボランティアスタッフの支援を受けながら、火起こしやお茶の飲み比べなどのゲーム、キャンプファイヤーを体験。児童は「普段はできない火起こし体験が楽しかった」「みんなと協力するから仲良くなった」と笑顔で1日を過ごしました。



多彩な催しで秋のまちなかにぎわう

「海の京都」綾部地区協議会(高橋辰夫座長)は10月22日、青野町のグンゼスクエアで綾のまちめぐりフェスを開催。あやべ地域交流大使のチャンパーハットでつじさんによるシルクスクリーンの体験やグンゼの歴史をひも解くツアー、謎解きゲーム、クイズなどで盛り上がりました。シルクスクリーン体験に参加した家族は、オリジナルのバッグやTシャツを作成し、つじさんから「完璧!天才やん!」と褒められうれしそうなお顔を浮かべていました。



123人が秋の里山を駆け抜ける

陸寄町の二王公園を発着点として10月23日「あやべ里山サイクリング2022」(同実行委員会主催)が開催されました。上林をひと回りする70キロメートルと里山をじっくり楽しむ40キロメートルの2コースに市内外から123人が参加。コース内にある市志公民館(五泉町)では芋煮が振る舞われるなど、参加者は地元住民の温かいもてなしを受けながら爽やかな秋の里山を快走しました。

仮装でハロウィン楽しむ



地球市民の集い実行委員会(委員長、山崎善也・綾部市長)は10月29日、青野町のあやべグンゼスクエアで「地球市民の集い」を開催。第1部は、世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール表彰式を実施しました。第2部は「Peaceハロウィン」と題し、ステージ発表や各種体験会、スタンプラリーなど多彩なイベントが盛りだくさん。多くの家族連れらが仮装やフェイスペイントなどで、ハロウィンを楽しみました。

新型コロナ ワクチン



このコーナーでは、
新型コロナワクチン
に関する情報をお知
らせします。

教えて!

乳幼児への接種が始まります

市は、生後6カ月〜4歳以下の市民への新型コロナワクチン接種を実施します。接種方法や日程等は左表のとおりです。費用は無料。

接種日程表

	日程			会場
	1回目接種	2回目接種	3回目接種	
①	11月29日(火)	12月20日(火)	令和5年 2月14日(火)	京都協立病院
②	12月17日(土)	令和5年 1月7日(土)	令和5年 3月4日(土)	綾部市立病院
③	令和5年 1月10日(火)	令和5年 1月31日(火)	令和5年 3月28日(火)	京都協立病院

※実施時間等、詳細については、市ホームページ等をご確認ください。
※10月末時点で、国が定める新型コロナワクチン接種の実施期間は今年度末までです。接種を希望する人は、来年1月10日までに1回目接種を終了するよう早めの予約をお願いします。

接種には保護者の同伴が必要です。接種回数は3回。1回目の接種で乳幼児用のワクチンを接種した人は、2・3回目接種までに5歳の誕生日を迎えても、1回目と同じ乳幼児用ワクチンを接種します。

予約・問い合わせ先

OWEB予約 (24時間)

予約システムにQRコードからアクセスする



市LINE公式アカウントからアクセスする



○電話予約

綾部市新型コロナワクチン接種コールセンター
電話 (42)0020 ファクス (42)5488
受付時間：午前8時45分～午後5時15分
(土・日曜日、祝日を除く)

電話での申し込みが難しい人は「乳幼児用新型コロナワクチン接種申込み」と記載し▽手話通訳希望の有無▽氏名▽生年月日▽住所▽接種券番号▽連絡先▽ファクス番号▽希望日程一を記載しファクスで連絡してください。

※医療機関では予約できません。医療機関への問い合わせはご遠慮ください。

わがまち

自慢

このコーナーでは、本市へのU・イーターナー等の視点から、市内12地区を順番に紹介いたします。

志賀郷地区



今久保達次さん・のぞみさん
(向田町)

移住への思い変わらず

「いずれは自然の中で暮らしたい」という思いがありました。綾部市を知ったきっかけは、移住立国あやべのホームページ。物件数の多さが魅力的でした。物件探しに2年かかりましたが、移住への熱い思いは変わらなず、そして、ようやく巡り合った今の住まいにほれ込み、一昨年の3月に大阪から移住しました。

住民企画のイベントが魅力

志賀郷地区の一番のおすすめは志賀郷ビアガーデン。今年実行委



「春は観音堂の桜がきれいです。季節ごとに異なる表情を楽しめます」と今久保さん

「つたえ隊」で移住の手助け

近くに人工島塔があり、コウノトリが家の真上を横切ります。羽を広げた姿が美しいです。心引かれる場所は向田観音堂。夏の祭礼では、夜にもとも明かりが幻想的で、昼間とは違う趣を感じました。最近「こころへんのことつたえ隊」に登録。ゆくゆくは農家民宿を営みながらこうした地域の魅力を伝えたい。そして移住を考える人の手助けになれたらと思います。

シリーズ 人権を考える

⑦ 第3回人権を考えるセミナー

「コロナ禍から考える

『誰も取り残されない社会』とは？」

人権を考えるセミナーの内容をお知らせします。

龍谷大学等非常勤講師 松波めぐみさん

障害の捉え方を考える

市教育委員会は10月14日、中央公民館で第3回人権を考えるセミナーを開催しました。

松波さんは、障害の捉え方について車椅子を利用する人を例に挙げ「階段など立って歩いて移動することが求められる状況で『障害』にぶつかると。心身の制約が障害ではなく、階段しかない施設を造った社会のあり方が障害をつくっている」と言及。続けて「この段差が社会のバリア(障壁)となり、障害のある人の機会や自由を制限してきた。バリアをなくするのは社会全体の責任」と捉える「障害の社会モデル」について説明しました。

誰も取り残されない社会に

「障害の社会モデルは、他のマイノリティ(性的少数者や外国人



など)の人権を考える上でもヒントになる」と松波さんは言います。最後にコロナ禍で感じたことを交え「自由に移動し、人に会うことが人間にとっていかに大切な権利かを実感した。この権利を制限されてきたのが障害のある人たち。社会には多様な人がいる。さまざまにバリアを具体的に知り、普段から気付けて『どうしたらバリアを取り除けるのか』を考える人が増えてほしい」と話しました。

手話でつながろう

今月の手話

今日



両手の手のひらを下にして、軽く押さえるように2回下ろす

昨日



顔の横で人差し指を後ろへ動かす(後方→過去をさす指を1本立てる→1日過去の意)

明日



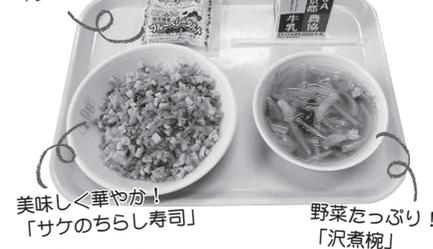
人差し指を立て、前方へ出しながら回転させる(前方→未来をさす指を1本立てる→1日未来の意)

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

あやべもぐもぐ通信

市内の全小・中学校の給食は、各学校で給食調理員が心を込めて作る自校調理方式。地域の農産物の使用や工夫を凝らした献立などで、安全・安心でおいしい給食を作っています。

目の健康に良い「ブルーベリータルト」



美味しく華やか! 「サケのちらし寿司」

野菜たっぷり! 「沢煮椀」

10月7日(金)

この日は、10月10日の「目の愛護デー」にちなんで、目の健康に良いと言われる食材を使ったちらし寿司と沢煮椀、タルトでした。サケの色素成分やブルーベリーに含まれるアントシアニン、ビタミン類をバランスよく取ることが目の健康につながります。

※写真は東八田小学校。各学校の実情に応じてメニューをアレンジしています。